

I-Basho(いばしょ)ラボ ~明日も登校したくなる学校を目指してできること~

『児童生徒が明日も登校したくなるための手立てとは』

<個人>

○児童生徒が明日も登校したくなるための「発達支持的生徒指導」を付箋に書き出してみよう。
また、付箋を生徒指導実践上の四つの視点で下の図に整理しよう。



発達支持的生徒指導

自己存在感の感受

・自分も一人の人間として大切にされていると実感できる。

共感的な人間関係の育成

・認め合い、励まし合い、支え合える学習集団に変えていく。

自己決定の場の提供

・自ら考え、選択し、決定する、発表する、制作する等の体験の場を提供する。

安全・安心な風土の醸成

・個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活を送れるようにする。

<グループワークの進め方>

- ① 個人で書いた付箋をグループワーク用ワークシートに貼り出し、グループ内で共有します。
- ② みんなで取り組む「発達支持的生徒指導」を決め、実践に向けて手立てを具体化します。

【どの視点で?】 当てはまる視点を○で囲んでください。(複数選択可)

自己存在感の感受 共感的な人間関係の育成 自己決定の場の提供 安全・安心な風土の醸成

【どのような働き掛けを?】

<全体発表について>

発表例を参考にしながら、全体共有を行いましょう。

(発表例)

- ・グループワークで決めた「発達支持的生徒指導」はどの視点に着目しているか。
- ・グループワークで決めた働き掛けをどのように始め、継続していくか。
- ・グループワークで特に盛り上がった取組や話題は何か。